

一晩での積雪が多かった、朝のスタートです。

出勤すると、職員玄関前を除雪している先生がいました。

「おはようございます。ありがとうございます」と声をかけ、私も雪ハネを手にしました。

すると、1年女子生徒が赤い雪ハネをもち、除雪を始めました。

「おはよう。朝早くから、せんなんことがあるはずなのに、ありがとう。」と話しかけると、彼女は「大丈夫です」と言い、雪をよかし始めました。

その後、自然発生的に人の数は増え、約40名の生徒がスコップやスノーダンプで、雪降る中、除雪をしてくれました。手を止める生徒は一人もいません。

本当に素敵な光景でした。

本校は、除雪当番を決めていません。伝統の一つと言えます。

除雪車は入るのですが、登校した生徒から、時間が許せば、玄関前や駐車場の除雪を行ってくれるような風土があります。心から感謝し、大切にしたい行動だと思います。

また、この「自然体」での除雪は、徳を積んでいる学校の一面だと考えます。

生徒たちを、誇りに思います。

朝、一緒にいられて、私は幸せを感じ、うれしかったです。